

第223回

柏崎しんぎん地区内経済指標

(平成26年10月)

 柏崎しんぎん

(平成8年4月 創刊)

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,534	-0.48	0.26	4,191	1.62	0.52
東部地区	14,211	-0.21	-0.02	5,729	0.61	-0.05
西部地区	10,375	-0.19	-0.05	4,032	1.23	0.02
駅南地区	6,333	-0.39	0.01	2,801	1.59	0.35
半田地区	3,691	-0.02	-0.08	1,398	0.21	0.14
横山地区	5,524	-1.16	0.03	1,959	0.71	0.00
茨目・田尻地区	7,081	0.49	0.31	2,518	1.69	0.35
荒浜地区	4,920	-2.22	-0.32	1,992	-1.19	-0.40
その他地区	19,117	-2.27	-0.29	7,075	-0.99	-0.16
西山町地区	5,925	-1.79	-0.13	2,128	0.09	-0.14
高柳町地区	1,630	-3.89	-0.30	773	-2.27	-0.38
柏崎市計	88,341	-0.99	-0.05	34,596	0.41	0.04
刈羽村	4,805	-0.04	-0.04	1,580	0.57	0.12
小国地区（長岡市）	5,806	-2.68	0.00	2,113	-0.84	0.28
出雲崎町	4,774	-2.01	-0.12	1,767	-0.33	0.00
合計	103,726	-1.09	-0.05	40,056	0.32	0.05

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比においては、柏崎市で884人・0.99%、刈羽村で2人・0.04%、小国地区(長岡市)で、160人・2.68%、出雲崎町で98人・2.01%と減少したことから、全体では1,144人・1.09%の減少となる。前月比では小国地区以外で減少しており、柏崎市で48人・0.05%、刈羽村で2人・0.04%、出雲崎町で6人・0.12%減少したことから、全体では56人・0.05%の減少となる。

世帯数は、前年同月比で、柏崎市で143世帯・0.41%、刈羽村で9世帯・0.57%増加しているが、小国地区で18世帯・0.84%、出雲崎町で6世帯・0.331%が減少したことから、全体では128世帯・0.32%の増加に留まった。また、前月比では、柏崎市で15世帯・0.04%、刈羽村で2世帯・0.12%、小国地区で6世帯・0.28%増加したことにより、全体では23世帯・0.05%の増加となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎管内	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎管内	新潟県	柏崎管内	新潟県
月間有効求人	1,731		13.80		-4.47	
月間有効求職者	1,536		-13.51		-5.12	
月間有効求人倍率	1.13	1.14	0.27*	0.08*	0.01*	-0.01*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況(パートを含む全数)では、月間有効求人数が1,731人と前年同月比で210人・13.80%増加している。また、前月比においては81人・4.47%減少している。

月間有効求職者数は、1,536人と前年同月比で240人・13.51%減少しており、前月比でも83人・5.12%減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.13倍と前年同月比で0.27ポイント上回っており、前月比でも0.01ポイント上回った。なお、県平均1.14倍と比べると0.01ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況(パートを含む全数)については、月間新規求人数が623人と前年同月比で47人・7.0ポイント減少、月間新規求職者数が404人と前年同月比で80人・16.5ポイント減少した結果、月間新規求人倍率は1.54倍となり、前年同月の1.38倍に比べて0.16ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成26年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	22	-25	-7	190	-89
共 同 住 宅	1	-1	-1	10	-1
事 務 所	1	0	0	8	2
作 業 所・工 場	0	0	0	3	-1
営 業 建 物	2	2	1	16	1
公 共 建 物	0	0	0	1	-1
そ の 他	11	-1	1	65	-15
合 計	37	-25	-6	293	-104

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が37件と前年同月比では25件の減少となる。前年同月比で工種別内訳の増減は、営業建物で2件増加しているが、一般住宅(併用)で25件、共同住宅で1件、その他で1件減少している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が34件となっており、また一般住宅(併用)22件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況では、市内施工業者が7件(うち新築6件)、市外施工業者が15件(全て新築)となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	66,150	0.47	0.08	15,783	-1.17	0.52
電 力	9,548	-2.27	-0.20	37,425	-4.03	-8.12

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で311口・0.47%の増加。前月比で53口・0.08%増加した。一方、電力においては、前年同月比で222口・2.27%の減少。前月比で20口・0.20%の減少となっている。

使用量においては、電灯が前年同月比で188kwh・1.17%の減少となっているものの、前月比では82kwh・0.52%の増加となっている。電力においては、前年同月比で1,572kwh・4.03%の減少。前月比においても、3,311kwh・8.12%の減少となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	696,465	1.24	18.15	682,159	-2.05	-6.17
営 業 用	154,314	-3.75	-18.15	114,815	-1.92	-10.46
工 業 用	747,995	-4.71	-7.79	110,982	-2.53	-2.51
官 公 学 校 用	197,715	-5.63	-18.56	73,266	-8.01	-4.72
そ の 他				115	2.67	35.29
合 計	1,796,489	-2.51	-1.93	981,337	-2.56	-6.19

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計で前年同月比46,311m³・2.51%の減少。前月比で35,478m³・1.93%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比・前月比共に家庭用のみ増加し、他は減少している。

一方、水道給水量は、前年同月比25,809m³・2.56%の減少、前月比で64,763m³・6.19%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比・前月比共に全ての用途で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	84,834	-9.65	2.53	87,738	-10.87	2.74
西 山	41,384	-7.22	3.52	37,695	-7.23	3.34
米 山	21,061	-10.49	1.68	19,887	-5.73	1.13
合 計	147,279	-9.10	2.68	145,320	-9.27	2.67

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の高速道路出入口での交通量は、入口が全体で前年同月比14,754台・9.10%の減少、前月比においては3,855台・2.68%の増加となっている。

出口においても同様に、全体で前年同月比14,856台・9.27%の減少、前月比においては3,790台・2.67%の増加となっている。

インター別の前年同月比および前月比を見ると、全てのインターで入口・出口共に前年同月比では減少しているものの、前月比では増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	370,677	1.57	0.42	145,137	2.10	0.60
平 残	372,803	1.71	0.43	143,536	0.87	0.41

預金は、末残が前年同月比5,758百万円・1.57%の増加。前月比においても、1,563百万円・0.42%の増加となっている。平残では、前年同月比6,298百万円・1.71%の増加となっており、前月比でも1,620百万円・0.43%の増加となっている。

一方、貸出金は、末残が前年同月比2,986百万円・2.10%の増加となり、前月比も869百万円・0.60%の増加となっている。平残においても、前年同月比1,244百万円・0.87%の増加となり、前月比でも588百万円・0.41%の増加となっている。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	22,898	-10.46	-13.81
交 換 金 額	19,014	-4.66	-10.15
不 渡 り 手 形 枚 数	0	-100.00	-100.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	-100.00	-100.00

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で2,675枚・10.46%と減少。前月比でも3,670枚・13.81%と減少している。また、交換金額においても前年同月比929百万円・4.66%と減少し、前月比でも2,148百万円・10.15%と減少している。なお、不渡手形は発生していない。

法的整理(負債1,000万円以上)による県内企業倒産は、1件(前年同月9件・前月7件)、負債総額1億円(同30億円・同11.4億円)となっている。1件の倒産は新潟市で発生し、業種は卸売業・倒産原因の状況は販売不振となっている。なお、県内で倒産件数が1件にとどまったのは、2012年8月以来、23ヵ月ぶりである。

県内経済は、海外市場向けや円安の恩恵を受け収益が改善する企業がある一方、企業規模を問わず燃料・資材価格高騰や人手不足等の影響が長期にわたる可能性がある。新潟県の景気DIは5ヵ月連続して前月比で悪化し、景況感に厳しい状況が続いている中、引き続き県経済の動向に留意する必要がある。